

聖書研究 第4課 あなたのための神の最高の犠牲

十字架は、紀元前約 600 年に、フェニキア人によって考案されました。それから、それはエジプト人によって、そして後で、それを改善し、逃亡した奴隷と、彼らの最悪の犯罪者を、死刑にするために、それを用いたローマ人によって採用されました。

十字架刑は、かつて人間によって行われた、最も苦しい、そして最も恥ずべき処刑の道具でした。それは、十字架上で死ぬのに、一般的に、三日から七日間かかったものでした。さびたくぎが刺さっている手と足には、壊疽（腐れ）ができたことでしょう。その痛みは、あなたの体のすべての関節が裂き離されたように感じるような、肉体的苦痛を与えたことでしょう。最後には、窒息によって死ぬことになるのでした。体を持ち上げなければ、息を吐くことが出来なかったのです。その時の痛みは耐えがたいものでした。全裸の恥かしさの中で夜の寒さにさらされ、昼間には、暑さにさらされたのでした。

しかし、キリストの死は他のすべての死よりも、最高の犠牲でした。なぜでしょうか？ある人たちは、外見上は、十字架の死よりもっと苦しく、恐ろし見える方法で、多くの殉教者たち死んでいきました。しかし、キリストの死は他とは比べ物にならないものでした。なぜでしょう。この課でそれがなぜか、また他の疑問も探究しましょう。

1. ピラトが、キリストを彼らに差し出した時、祭司長たちや役人たちは、何と叫びましたか？ ヨハネ 19 : 5-7

注：ローマの代理者（総督）ピラトは、イエスに罪を見いだせませんでした。だから、ユダヤ人たちは、なぜイエスの十字架刑を彼らが求めていたのか、その理由を告げなければなりませんでした。彼らは、キリストに死を宣告する律法を、自分たちは持っていると言いました。彼らが言っている律法とは、冒瀆の律法でした。

2. ユダヤ人が言っていた冒瀆の律法によると、どんな死の方法が規定されていましたか？ レビ 24 : 16

注：ヨハネ 10 : 30-33 に、イエスが「わたしと父とは一つである」と言った時、ユダヤ人たちは、イエスを打ち殺そうとして、再び石を取りあげたのを、わたしたちは見ます。これは、冒瀆罪の死刑の方法は、石打ちの刑であるのを、彼らは知っていたことを証明しています。

3. それではなぜユダヤ人たちは、キリストを十字架につけよと求めたのでしょうか？それはユダヤ人にとって木にかけることを意味していました。(使徒 5 : 30 ; 10 : 39 ; 13 : 29 を見て下さい) 申命 21 : 22, 23

注：ユダヤ人たちが「彼を十字架につけよ」と叫んだ時、彼らは、キリストを死なせることを要

求していただけでなく、彼らは、神ののろいを彼の上に求めていたのです。ユダヤ人にとって、ある人が木にかけられるということは、彼が犯したすべての罪のための許しの祈りをささげることが出来ないことを意味していました。なぜなら彼は永遠に神から切り離されたからです。彼は呪われたのです。このように、天と地の間にかけられた人を見る人たちは、天においても地においても見捨てられ、無価値なものとなされたのでした。これが、キリストに対して彼らが望んだことでした！

4. キリストは、どのように私たちがあがなったのでしょうか？ ガラテヤ 3 : 13

注：神は、キリストを、私たちの代わりに、のろいとならせました。彼は、木に掛けられている間、全世界の罪科を感じておられました。

5. キリストは、私たちが救うため、私たちの代わりに、のろいとならなければならないことを、知っておられましたか？ マタイ 26 : 36-46

注：神は、キリストからのろいを取り除くことは出来ませんでした。なぜなら、神は私たちが愛しておられて、それが、私たちが救うことができる、ただ一つの方法だったからです。「神はご自身の御子をさえ惜しまないで、わたしたちすべての者のために死に渡されたかた」。これは、天父もまた、私たちがどれほど深く愛しているかを、私たちにあらわしています。

6. だれがイエスを死から生き返らせたのですか？ 使徒 5 : 30 ; I コリント 6 : 14 ; ガラテヤ 1 : 1

注：イエスは、この世界にいる間、彼の父に全く頼っておられました。そして彼は、彼の復活のためにもまた、父に頼っておられました。

7. イエスは彼の死に面して、どんな注目すべきことを叫びましたか？ マルコ 15 : 33-37

注：その計画は、イエスが人類のために死んで、それから天父が彼を生き返らせるということになっていました。しかし、イエスは、彼が見捨てられたと感じて、天父に叫んでいます。この計画で、何がうまくいかなかったのでしょうか？まさに、ここに完全な犠牲に関して考えるべき点があります…彼は、全世界の罪に対する不興のために彼の犠牲を受け入れるには、父にとって大きすぎると感じます。彼はもはや彼の父の臨在を感じません。復活の希望は、その自暴自棄によって、消え去ってしまいました。彼は世界と彼自身の両方を救うことが出来ませんでした。彼は

世界か彼自身かのどちらかを選ばなければなりません…そして彼はなおも、それを終わりまでやり通すのです!!!

この行為の中で、彼が何を言っているか、あなたは分かりますか？彼は彼自身を愛するより、もっと私たちを愛しているということです。彼は復活の希望がなくても、喜んで永遠に死んで、私たちが生きるのを望まれたのです。彼は、永遠から互いに親しい交わりをしてきた彼の父から、永遠に切り離されてもよいと思ったのです。彼は、私たちが救われるために、彼の父の顔を二度と見ることができなくても、喜んで犠牲になったのです。それは、彼が私たちをどんなに愛していたかということです。これが、私たちのための、彼の最高の犠牲の深さです。

詩編 22 編の中に、私たちは十字架刑の注目すべき記述と、イエスが死ぬ前に述べた、まさにその言葉を読みます。この記述は、十字架上で彼の心を苦しめたか、その深い感情の痛みについて糸口を私たちに与えてくれます。

8. 6 節に、イエスはどのように、彼自身を表していますか？ _____

9. 私たちに神の愛を示すために、キリストは何をしましたか？ I ヨハネ 3 : 16

注：イエスはご自身の存在が消されてもよいと思うほどご自身の命をささげました。それは、私たちが彼の代わりに生きることができるためでした。十字架は、私たち罪人をどれほど神が愛しておられるかを証明しているのです。この最高の犠牲によって、イエスは、彼自身よりもっと私たちが愛していることを、私たち罪人に語っているのです。

10. この最高の犠牲は、私たちにどのような影響を及ぼしますか？

I ヨハネ 4 : 19 ; II コリント 5 : 14, 15 _____

結論：私たちは、キリストが彼自身にまさって、私たちを選んだという愛を知る時、それはわたしたちの内に愛を目覚めさせます。これが、キリストを受け入れる正しい動機です。彼が私たちを、どれほど愛しているかを示したので、私たちは、私たちの心と生活に、彼に信頼することに、ゆっくりとりかかることを、始めることができるのです。

第4課の答えとなる鍵

質問1. 彼を十字架につけよ

質問2. 石打ちの刑。

質問3. 彼らは、神ののろいを、彼の上に求めた。

質問4. 私たちのために、のろいとされることによって。

質問5. はい。

質問6. 天父。

質問7. 「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか？」

質問8. 虫。

質問9. 彼はわたしたちのために、彼の命をささげた。

質問10. それは、私たちを、彼に引き寄せ始める。